



かわいい



<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kawai/> (HP 随時更新中!)

体験して学ぶことが好きな子どもに

副校長 西原 千輪子

年明けは暖かい晴天の日が続きましたが、さすがに2月に近づき寒さが本番になってきました。白い息を吐きながら、登校してくる子どもたちと会うと、寒さに負けずに頑張っている姿に嬉しくなります。

近頃、生活が加速度的に便利になってきています。切符を買わなくてもカードで利用できる電車、目的の駅までアプリで迷わず到着できます。買い物に行かずにスマホで配達の人を探し、ファーストフードが食べられます。安全や時間の節約など、様々なことで時代の恩恵にあずかっていますが、その途中にあることを覚えず育って行って、豊かな人生ということができるのでしょうか。そう考えるようになった出来事が続きました。



年明けの行事として書初めがあります。書初めの始まりは平安時代の宮中行事と言われています。そのお話や新年の心構えなどを考えながら、本校の児童も静かな様子で集中して取り組んでいました。4年生は『明るい心』担任の先生の助言を聞きながら、1文字1文字書き進めていました。筆遣いは正しくできているかな、自分の名前は丁寧に大きく書けているかなと私からも声をかけました。地域の行事では、どんど焼きがありました。小正月にお正月に使った縁起物を持ち寄って燃やす行事です。一足先に来た子どもたちが歓迎してくれて、お餅の焼き方を親切に教えてくれました。生き生きとした表情で行事の主役となっている子どもたちを見て、地域の役員の方々がとても喜んでいました。

1月20日の「ランナーズ」に向けて各学年よく練習してきました。回を重ねるごとに走ることができる距離が伸びていきました。5年生は担任の先生と速さを競って、グラウンドを10週も走る児童も出てきました。当日は、2年生が4年生にiPadでラップを伝え、サポートしていました。1年生と6年生は、たてわりペアで並んで、6年生が1年生を送り出すという姿です。1年生が思いっきり走り出し、急に速くなったり、少し歩いてみたりと安心して取り組んでいる様子がありました。6年生に優しくしてもらったことをいずれ下学年の子に返すことができるようになるでしょう。一方、6年生は自分の体力に向き合っています。5分の曲に合わせて完走するだけでなく、大変集中して、すがすがしい顔でゴールしました。1年生はまるでペアの6年生のファンのように応援しています。校庭の周りは、自然に湧き上がる拍手に包まれました。子どもたちは自分のペースで自分の記録に挑戦するという形式でありながら、たてわりで交流を楽しみ、みんなで体とともに心も鍛えることができたと感じました。3年ぶりの「ランナーズ」への取り組みは、子どもたちにとってかけがえのない体験となりました。保護者の皆様には多数参観し、応援していただきありがとうございました。



川井小学校では子どもたちにできるだけ様々な体験を積ませるために工夫していきたいと思っています。教室で身に付けることだけでなく、自分で作ったり、生き物を育てたり、詳しい人に尋ねたり、時に思い通りにならずやり直したりして、体験を通して「学び方」を身に付けさせたいと思います。そして、たくましく生きる力をつけて、豊かに歩いてほしいと思います。今後とも、家庭や地域の皆様のご協力をお願いいたします。